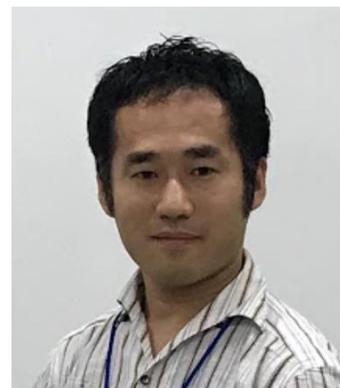


## 第239回 IBBセミナー

皮膚上の生体液との高効率な  
インターフェイスを志向した  
マイクロ流体材料と電気化学デバイス  
Microfluidic materials and  
electrochemical devices toward efficient  
biofluid interface on the skin



**講師：甲斐 洋行 助教**

東北大学材料科学高等研究所 (AIMR)

日時：令和3年12月16日(木) 15:00～16:00

開催方法：Zoomによるオンライン開催

皮膚に貼り付けるウェアラブル化学センサは健康状態のモニタリングや疾患の診断に役立つことが期待されているが、微量の生体液を効率良く採取・分析することが今後の発展には重要である。私たちは微小な液体試料を効率的に扱うために、多孔質樹脂マイクロニードルやフラクタル開放型流路による水滴収集フィルムといったマイクロ流体材料を新たに開発して、高効率な電気化学バイオセンサなどへの展開を図っている。

お問い合わせ：バイオエレクトロニクス分野  
宮原裕二，田畑美幸(内線：8095)

E-mail: miyahara.bsr@tmd.ac.jp, tabata.bsr@tmd.ac.jp